

Dコース

オンライン開講

定員  
各日  
50名

受講料  
1,000円  
(1/29,2/12両日  
受講可)

# 植物工場の経営 (パプリカ・レタス・トマト)

zoomを使用したリアルタイム講義で  
どなたでも・どこでも ライブで授業に参加できます！

【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会  
【事務局】 愛媛大学植物工場研究センター  
【目的】 植物工場などの高度な環境制御が可能な作物生産システムにおける各種計測技術・環境制御・栽培・経営に関する知識を広く一般に広めると共に、実践的な演習や実習を通して植物工場による作物生産の普及拡大に寄与する専門家の養成を行い、次世代施設園芸における生産性向上を加速させることを目的としています。  
【概要】 愛媛大学植物工場研究センターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA (Speaking Plant Approach)技術\*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。  
\*SPA: 各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。



1月29日[金] 受付開始8:40~

小林 豊 株式会社信州サラダガーデン

8:50   10:20	パプリカ栽培と経営の実際	現在の大規模パプリカ栽培者の技術的、経営的課題から、今後のパプリカ栽培事業の方向性を考える。
10:30   12:00		

嶋本 久二 株式会社プランツ

13:00   14:30	太陽光植物工場におけるレタス生産現地から生発信	2012年に創業した宮崎県門川町のひむか野菜光房でのリーフレタスの生産状況を現地から生配信しながら太陽光植物工場の設備の紹介と生産の流れをご紹介します。
14:40   16:10	太陽光植物工場の運営と経営	ひむか野菜光房を始め数件の太陽光植物工場の運営、経営に携わった経験を元に成功につなげるためのポイント、問題点、今後の改善点などをお話します。

2月12日[金] 受付開始12:50~

吉田 征司, 知識 秀裕 JA全農

13:00   14:30	ゆめファーム全農の成果と今後の展望	全農は全国3か所に自ら温室を建設し、施設園芸の経営モデル確立へ向け実証を行っている。本講義では、この取り組みの意義および各拠点の成果を紹介し、実証して見えてきた施設園芸業界の課題と今後の展望について紹介する。
14:40   16:10		

1/29[金]  
2021.2/12[金]

申込方法 締切: 1/22(金)正午

下記の参加申込フォームより、お申し込み下さい。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付致します。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡を致します。  
ご不明な点は、最下段の問い合わせ先までご連絡ください。

❖ 参加申込みフォーム:  
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyud/mpmailec/form.cgi>



参加申込みフォームQRコード

※受講料1,000円で1月29日、2月12日の全ての講義をご受講いただけます。  
※一部のみの受講でも受講料の割引等はございません。